

令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(研修事業関係)

- 1 変異株を含む新型コロナウイルスによる感染症の拡大のため、全国篤志面接委員大会（中央研修会）及び矯正管区管内篤志面接委員研修大会（地方研修会）のすべてを中止した。
ただし、大阪矯正管区管内においては誌上での研究会を開催し、講師による講演や委員による体験・研究発表が掲載された記録紙を管内の委員に配布した。
- 2 初任者研修（中央研修会）の開催を同様に中止した。
- 3 矯正管区管内篤志面接委員教養訓練の開催を同様に中止した。
ただし、福岡矯正管区管内においては令和3年12月から令和4年1月までの間に「①「メンタルヘルス」～癌とうつ病の克服体験記、②自分と未来は変えられる～でも、一人では変えられない～」というテーマで書面にて教養研修を実施した（篤志面接委員57名、関係者19名、合計76名参加）。また、広島矯正管区においては社会福祉の専門講師による講義内容をDVD録画し、管内の委員に配布したほか、複数の管区においては研修教材として専門書籍を購入し会員に配布した。
- 4 研修教材「全国矯正管区管内協議会研修会 講演記録集」の作成・刊行
最近の管区協議会における管内研修（研究）大会時の記念講演や基調講演の中から16名の専門家による講演を集めた講演記録集（ページ数298頁）を作成し、全国の篤志面接委員に配布した。委員の自己研鑽を図る研修教材として活用していただくこととした。

(表彰事業関係)

- 1 従来通り、篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員20名に対して会長表彰を実施した（表彰状の交付は各施設の長に依頼）。
- 2 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員25名に対する法務大臣感謝状の授与に際して祝意を表した（感謝状の交付は各施設の長に依頼）。

(慶弔事業関係)

篤志面接委員の慶弔に際して、表敬・慰謝を行った。

(広報・機関誌事業関係)

- 1 ホームページを更新し、内容の充実と広報活動の充実を図った。
- 2 機関誌「全篤連だより」を令和3年7月、同4年2月に発行した。
- 3 前年度に京都市で開催された第14回国連犯罪防止刑事司法会議（京都コ

ングレス)の際に配布した英文リーフレットを基にして、篤志面接委員とその活動に関する広報用資料として新たに A4判三つ折りのリーフレットを作成し、矯正施設等に配布した。

(事務局関係)

- 1 事業運営目標達成に向け、その基礎となる次の点に留意した。
 - (1) 引き続き、税理士と契約し財務の指導を受けるとともに、監事による10月までの上半期の中間監査を実施するなど、財務状況の把握を確実にした。
 - (2) 新たに広報用資料を作成するなど、広報活動の積極化に努めた。
- 2 ネット環境を活用したオンライン会議(例えば常任理事会など)の開催ができるよう、その試行に努めた。
- 3 予算執行について
 - (1) 公益目的事業会計について、JKAからの補助金が前年度とほぼ同額を内示されたところから、あらかじめ地方研修大会の開催及びその準備に必要な経費を調査した上で予算配布し、効率的・効果的な執行に努めた。(結果的には、地方研修大会の開催は中止となった。)
 - (2) 法人会計については、予算の経費節約に努めた。

(その他の事業関係)

特になし